

關根黙庵 姓和 劇評家。文久二年江戸生れ、大正十一年十一月二十七日歿（八三—一九三）。諱曰好、通稱金四郎。別號劇童子、劇童只好。黙庵主人。好劇家關根只誠の次男、兄は國文學者關根止直。

著書「江戸花街江戸書誌」全二冊（關根金四郎名、上卷・明治二十七年三月二十日、下卷・四月十三日六合館荏卷書店）、木「浮世繪名家詳傳」

（内題「浮世畫人傳」同、再版・明治二十二年一月一日秋原新陽館）、「江戸の落語」（編、明治二十八年八月一日服部書店）、演「劇大全（附録・東都劇場細見）」（明治二十九年六月二十日内外出版

協會）、叔妹「研究大江戸」（合著・江戸研究會編、大正二年十月二十四日大屋書房）、酒落本通鑑「酒落本通鑑」（編、大正二年七月二十日一星社）、

「黃表紙名作集」（編、大正四年二月二十日一星社）、歌舞漫文劇と「其俳優」（大正十一年二月十日國史講習會「文化叢書」）、講談落「語今昔譚」（大正十二年四月二十日雄山閣）、御家騒動の研究「（合

著・國史講習會編、大正十四年五月十日雄山閣）等。